

郡山市湖南町地区における地域づくり懇談会

平成25年2月23日(土)
 湖南行政センター
 午後：1:00～3:00

湖南地区では、去る2月23日に、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 高木 亨先生を招いて懇談会を開催しました。

今回の企画は、昨年の懇談会の際、地域の方から大学との連携も模索しているとの発言があり、実現しました。懇談会では、高木先生の「地域づくり活動内容」の報告を聞いたり、それぞれの団体が湖南地域での活動や悩み事などを語り合い、高木先生からたくさんの助言をいただきました。

湖南町全体の地域づくりについて、新たな視点や発想を得ることが出来ました。

1. あいさつ
 土木部 都市総室 部参事(復興・まちづくり担当) 長谷川 潔
2. 出席者紹介団体名
 - ・しゃべってみねがい湖南
 - ・ぐるっと湖南伝承会
 - ・湖南町商工会
 - ・赤津簡易郵便局
3. 活動紹介
 福島大学
 うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 高木 亨氏
4. 懇談
5. その他



【懇談会の様子】

～ 活動紹介～



【活動報告の様子】

◀ 高木先生から、2009年より集落活性化事業に取り組んでいる、いわき市川前町高部地区での活動内容について紹介がありました。

～ 地域の方の意見～

- ▶ 風力発電ができて6年目になる。これからはリピーターを増やすことが大事。バイパスができれば布引高原から福良に向けての観光名所をつくれれば、変わるのではないか。
- ▶ 湖南町のキャラクターを、地域の方々が考え作ることが必要。キャラクターなどを使って“かりんとう等の特産品のブランド作りをしていきたい。
- ▶ 湖南のイメージ
 - ・自然がある。・そば、漬け物がおいしい。
 - ・地域の多くの人が農業をやっている。
 - ・四季がはっきりしていて冬は暮らすのに不便だがそこが良い。・・・など

【湖南の“かりんとう”】



～ 高木先生のアドバイス～

- 皆さんには色々な想いがあると思います。それぞれをどのように繋げていくかが大切だと思います。湖南町は自然が多く食べ物がおいしい、でも、それだけでは人は集まりません。何を強調してアピールするかが大事です。また、アピールする何かを具体化させなければいけません。
- 湖南というブランドを作る作業をみんなでやっていくことが良いと思う。ブランドを作り上げていく事がブランドになっていくと思います。
- 一つのきっかけに対してみんなの力を積み上げていくことが大事です。

～ 長谷川部参事のアドバイス～

- 湖南に昔からあるものを大切に、ブランドをつくりあげていったら良いと思います。
- 提案：雪が溶けたら先生に再度来ていただき、地域の良い所を見てもらい、意見交換をするのはいかがでしょうか。(一同大賛成)